



✓ Third party verified
Environmental Product Declaration

Conformance with
ISO14025 | ISO14040 | ISO14044



株式会社竹中工務店
TAKENAKA CORPORATION

「燃エンウッド®」(2時間耐火仕様：柱)

Fire-resistant laminated timber Moen-Wood (Fire resistance specifications 2 hour : Column)



登録番号

SuMPO-EPD-2512-41-1

検証合格日

2025/12/16

公開日

2026/1/20

検証有効期間

2030/12/15

EPDタイプ

単一製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格

ISO21930:2017

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。

EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。

<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

●基本情報

>プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

>GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	建材及び建設製品 Construction products v.2.0.1
PCR登録番号	SuMPO-PCR-01000-2-0-1
PCR認定日	2025年3月31日
レビューパネル委員長（所属）	伊香賀 俊治（慶應義塾大学 名誉教授、一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター 理事長）
PCR有効期限	2030年3月30日
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

>検証情報

検証の種類	ISO 14025及びISO 21930:2017に従った第三者検証		
	☐ 内部	☒ 外部	
	☒ 検証員による 第三者検証	☐ 検証機関による 第三者検証	☐ EPDシステム認証 による第三者検証
検証実施者（所属）	阿藤 崇浩（特定非営利活動法人資源リサイクルシステムセンター）		

>準拠規格

準拠規格	☒ ISO 14040:2006	☒ ISO 14044:2006	☒ ISO 14067:2018
	☒ ISO 14025:2006	☒ ISO 21930:2007	☒ ISO 21930:2017
	☐ EN15804+A2	☐ EN50693:2019	☐ ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDが宣言単位に基づいている場合、比較は機能単位あたりで行われなければなりません。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	株式会社竹中工務店木造・木質建築推進本部
住所	〒136-0075 東京都江東区新砂 1 - 1 - 1
問い合わせ先	tsumura.chikako@takenaka.co.jp
LCA算定実施者（所属）	津村 千香子（株式会社竹中工務店）
事業者概要	総合建設業（建築・土木、都市開発・建設、不動産）

●製品情報

製品名称		「燃エンウッド®」(2時間耐火仕様：柱)		
製品の型式		2時間耐火構造部材		
製品仕様	製品機能	2時間耐火柱		
	製品質量	865.36 kg	換算係数	0.865g/cm3
	製品の用途	構造部材		
	技術性能	国土交通大臣認定の2時間耐火集成材（認定番号：FP120CN-0699）		
耐用年数	年数	50年		
	使用条件	屋内		
	年数を設定した根拠	鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造の建物の耐用年数と同等とし、耐久年数や保証期間を指すものではない。 出典：国税庁, "主な減価償却資産の耐用年数表" < 2022年 >		
製造サイト（製造拠点）		齋藤木材工業株式会社		
製品概要		純木の「荷重支持部」、モルタルもしくはせっこう系材料と木で構成された「燃え止まり層」、純木の「燃え代層」の3層で構成される耐火集成木材		
製品ウェブサイト		https://www.takenaka.co.jp/solution/environment/moenwood/		

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量
木	38.7	335.27 kg
せっこう	60.0	518.78 kg
接着剤・塗料	1.3	11.30 kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量
PP	13.8	0.02 kg
PE	51.7	0.06 kg
段ボール	34.5	0.04 kg

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO ₂ eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	149.36	547.65
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	0.02	0.06

●LCA 関連情報

> EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	☒ 単一製品		☐ グループ製品		☐ 業界製品	
	サイトタイプ	☒ 特定サイト			☐ 複数サイト		
	開示方法	☒ 特定値	☐ 加重平均値		☐ 代表値		☐ 上限値
地理的範囲		日本					
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける 代表性の説明		－					
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける、算定結果の 上下幅に関する説明		－					
複数製品EPDの説明		－					

> LCA関連情報

宣言単位		1m3		
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)		865kg		
基準フロー（機能単位を満たすために必要な製品数）		－		
システム境界		☒ Cradle-to Gate	☐ Cradle-to-Gate with options	☐ Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア		MilCA（クラウドサービス）		
LCIデータベース		IDEA v3.5.1		
特性化モデル		GWP IPCC2021 100a、 LIME2		
その他のバックグラウンドデータ		無し		
二次データ品質		GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。なお、データ品質評価は ISO 14044： 2006（環境マネジメント－ライフサイクルアセスメント－要求事項及び指針）の 4.2.3.6 に従って行った。		
一次データ収集拠点		齋藤木材工業株式会社		
一次データ収集期間		2024/1/1～2024/12/31		
生物由来炭素の取り扱い		☐ 0/0アプローチ	☒ -1/+1アプローチ	
電力契約に関する情報	使用有無	☒ 国や地域の平均的な電力ミックス	☐ その他	
	種類	系統電力（日本平均）		
	購入日	－		
	発行元	－		

> 算定対象段階

資材製造段階			施行段階		使用段階							解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連						
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益
■	■	■	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

■：算定対象 -：算定対象外

> アロケーション

全ての投入物、およびせこう製品製造に資する投入エネルギーは生産重量で按分した結果を算定単位1m3あたりに換算した。集成材製造、および製品製造に資する投入エネルギーは生産材積で按分した。

> カットオフ

消耗品である切削工具について、カットオフを行った。PCRで定められたカットオフ基準を満たしていることを確認した。

> システム境界

PCRで定められたCradle-to-Gate:「原材料の調達」「工場への輸送」「製造」に該当する資材製造段階(A1~A3)を 評価範囲とした。
時間的システム境界は100年である。

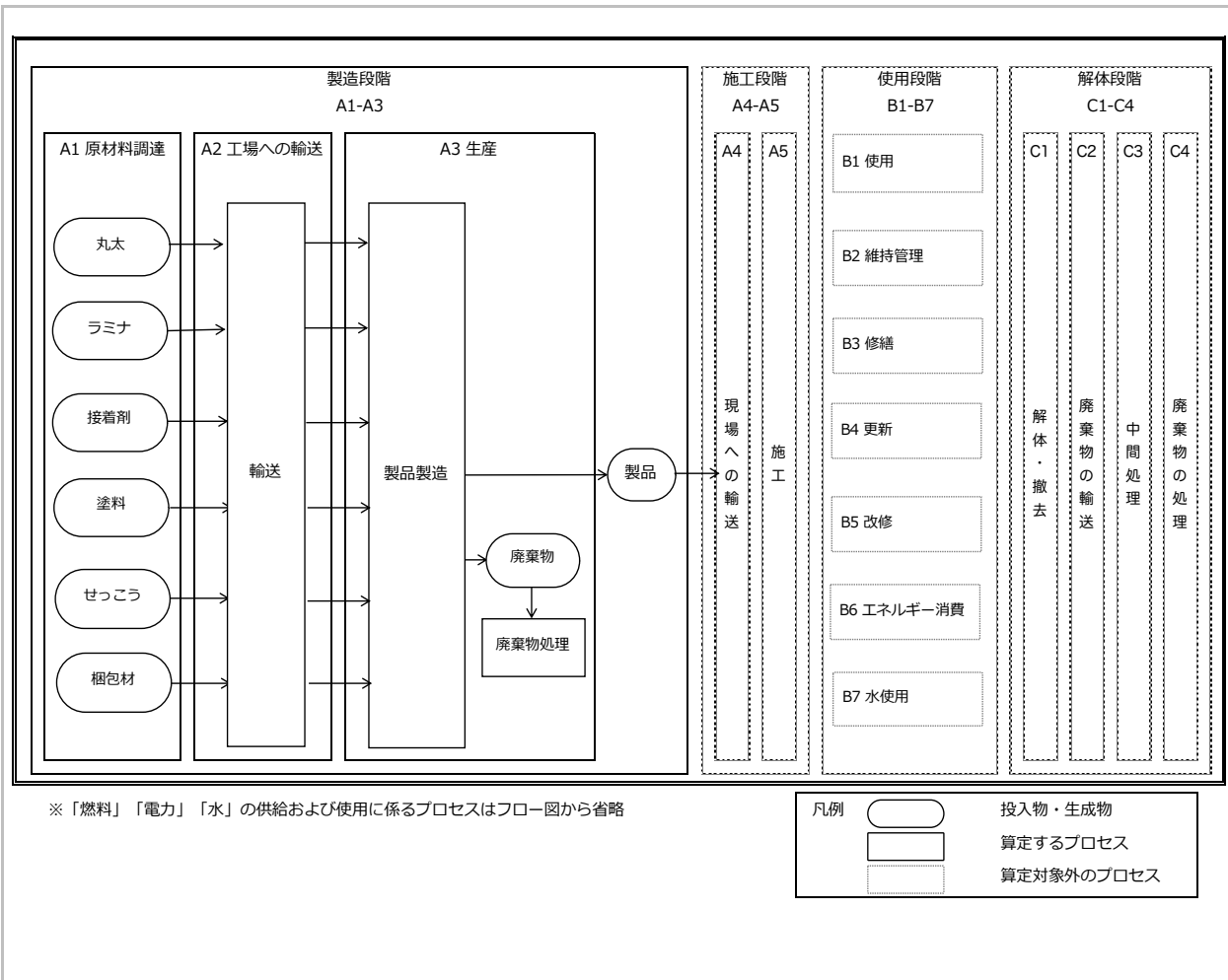
> シナリオ

モジュール	説明
A2	一部の原材料の調達輸送距離について、PCR Annex Bを参照した。
A3	廃棄物の輸送距離について、PCR Annex Bを参照した。

> 電力モデリング

2021年日本平均の値を使用した。

> ライフサイクルフロー図



●算定結果

＞ライフサイクル影響評価結果

[illegible]

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報—一次資源の使用に関する指標

[illegible]

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報—二次資源の使用に関する指標

[illegible]

＞ライフサイクルインベントリ分析関連情報－非生物資源-化石燃料、淡水の消費量

[illegible]

> 出力フローに関する環境情報

[illegible]

> LCA算定結果に関する説明

本EPDにおけるLCA算定では、製造サイトの活動量は一次データを収集しましたが、それに乗じるLCIデータには、一般的な二次データを使用しています。また、一部の輸送距離についてシナリオを適用しました。そのため、結果は概算値となります。

本EPDにおけるLCA算定では、気候変動における生物由来炭素の取り扱いに-1/+1アプローチを採用しましたが、生物由来のライフサイクル影響評価結果の数値は、使用したLCIデータ（IDEA）による算定結果であり、実際の木材の炭素含有量とは異なることに留意ください。

なお、LCA算定結果は、環境への影響の大きさや、安全性、及びリスク評価を直接的に示すものではありません。

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての一切の責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、登録事業者までお問い合わせください。

EPDは、状況が変化した場合、更新又は公開が中止されることがあります。EPDの最新版、及び有効性を確認するには、以下を確認してください。 <https://ecoleaf-label.jp/epd/>

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

本EPDは宣言単位に基づいており、比較は機能単位あたりで行われなければなりません。

●追加環境情報

> LCAに関連しない追加環境情報

特になし

> 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
なし	—	—

建材および建設製品からの危険物質の放出

なし

●用語の定義

—

●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO21930:2017 Sustainability in buildings and civil engineering works — Core rules for environmental product declarations of construction products and services